

第4章

PDCA サイクルでの実践

Action

江田島中学校区では、取組を PDCA サイクルで改善を図り、次年度には、さらにより取組となるように進めてきました。

この章は、「はじめに」の章(P6)で示したように、特に「第3章」の Check の結果を踏まえて、何をどのような方法で改善を図ったのかを掲載しています。

(※評価についての改善は、第3章に掲載しています。)

第1節 Actionを行うに当たって

1 改善案を作成し、カリキュラムを構築する



見直しのポイントは何ですか？

- 教科・単元と育成する力の整合性はどうか。
- 単元構成はどうか。
- 実態に適した指導・支援の工夫になっているか。
- 年間指導計画の改善を図る。
- カリキュラム・マネジメントで学習をつなげて学びが深まっているか。

(2年目)

	学習活動	指導上の留意点 (◇)	評価規準 (○) と (評価方法)
導入 2分	1 めあてと学習の進め方を確認する。	◇学習計画の掲示物を使って、本時の学習内容と進め方を確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ㊟ ぼく・わたしのとっておきの☆☆をつたえて、まなびをふりかえろう。 </div>		
展開 20分	2 自分が選んだ とっておきの☆☆を発表する。 ・動物愛護センター ・ポーク&チキン江田島	◇友達の発表後には、質問や感想などを伝え合い、仲よし認定をする。	
終末 23分	3 学びの振り返りをする。	◇単元導入に書いたアンケートを振り返り、自分の成長を、学習の前後で比べて書くことができるようにする。 ◇時間があれば、児童に自分の学びを発表させる。	【知-②】 ○生き物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている (キャリア教育の視点) 【見つめる力】 ❖生き物に心を寄せた自分の気持ちの変容に気付いている。 (観察法、振り返り)



	学習活動	指導上の留意点 (◇)	評価規準 (○) と (評価方法)
導入 2分	1 めあてと学習の進め方を確認する。	◇学習計画の掲示物を使って、本時の学習内容と進め方を確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ㊟ ぼく・わたしのとっておきの☆☆をつたえて、まなびをふりかえろう。 </div>		
展開 20分	2 自分が選んだ とっておきの☆☆を発表する。 ・動物愛護センター ・ポーク&チキン江田島	◇友達の発表後には、質問や感想などを伝え合う。 ◇教師は、とっておきの理由を聞いたり、活動中のエピソードから全体に広めたり個に再確認して自覚させたりしたいことなどを引き出したりする。 ◇単元導入時に考えた目指したい仲よしの基準が増えたかを振り返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> 赤字—協議会で出された意見を基に改善を図り、次年度に向けたカリキュラムを開発した。 </div>
終末 23分	3 学びの振り返りをする。	◇単元導入に書いたアンケートを振り返り、自分の成長を、学習の前後で比べて書くことができるようにする。また、その理由も書くように言葉かけをする。 ◇時間があれば、児童に自分の学びを発表させる。	【知-②】 ○生き物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている (キャリア教育の視点) 【見つめる力】 ❖生き物に心を寄せた自分の気持ちの変容に気付いている。 (観察法、振り返り)

(3年目)

江田島小学校では、第5学年の総合的な学習の時間を、キャリア教育の視点を踏まえて改善しました。

見直したポイントは、以下の2点です。

①単元を通して育成する力を明確にする

育成する力を軸に、「こんな子供に成長してほしいな。 → だからこんな活動を仕組んでいこう。」と単元構成を考えていくことで、子供たちの力を伸ばす学習に改善することができました。

②地域や企業の方々と育成する力を共有する

出前授業連携シート（第2章5ページ参照）を活用することで、地域や企業の方々と学習の目的を共有することができました。また、育成する力に応じた声掛けをしていただき、子供たちの学ぶ意欲に変容が見られたり、学びを社会や生活とつなげるために、学習活動をご提案いただいたりすることができました。

単元を通して見通す力(キャリア・プランニング能力)を育成したい…!



子供たちが学習活動の計画を自分たちで立てたいと思えるような動機付けを地域の方にさせていただこう!

子供たち自身がPDCAサイクルを回すことができるように、マルシェに2回参加させてもらい、改善案を実践する場を作ろう!



特産品を販売するマルシェを主催する会社、ジーンリーフの代表である安西さんに来校いただきました。市役所でも働いていらっしゃる方なので、江田島市の課題として、「知名度が低いこと」「観光客や人口が減っていること」を伝えてもらいました。

「知名度をあげる取組を一緒にしていきましょう!」という動機付けもしてもらいました。



まずは自分たちが特産品を知るために、「濱口醤油」「オリーブファクトリー」「てくてくさつまいも本舗」「グリーンファーム沖美」の4つの事業所に見学に行きました。



マルシェで自分たちが紹介する特産品を学ぶという視点で熱心に質問をしたり、レポートにまとめたりすることができました。



4つのグループにわかれて、マルシェに向けた取組を進めました。(ポスターグループ・チラシグループ・ホームページグループ・歌ダンスグループ)

学習発表会では、疑似マルシェを劇で紹介しました。

台詞もダンスも自分たちで考え、練習もリーダー中心に子供たちが計画しました。

11月15日に、ゆめタウン江田島で第1回のマルシェを開催しました。自分たちで特産品を調べて広めたいという思いをもって臨んだマルシェだからこそ、マルシェ終了後には、「特産品と特産品を組み合わせたPRの方法を途中で思いついたよ。ドレッシングとトマトと一緒に宣伝した方がよいのではないかな。」「自分の担当する特産品が売り切れた後の行動を考えていなかった。商品がなくなってからも特産品を広めるためにはどうしたらよいだろう。」「広島市には江田島のことを知らない人がたくさんいるから、PRの方法を変えた方がよいね」など、広島市のアルパーク内にある無印良品で行うマルシェに向けた振り返りがたくさん出てきました。

3学期に向けて、もう1回PDCAサイクルを回すこととしました。



2 成果と課題から、育成する力と系統表の見直しを図る



育成する力を、どのように見直すとよいですか？

- 育成する力の具体については、一つの文章に一つのみで設定することを心掛けました。一つの文章に複数の目標が設定されているものは「ダブル・バーレル」となり、何を目指すかが不明瞭となります。これを改善することにより、育成する力の具体を発達段階に適したものに設定でき、学校・保護者・地域・児童生徒のみんなにわかりやすいものとなりました。

(2年目)

	みつめる力 (自己理解能力 自己管理能力)	かかわる力 (人間関係形成能力 社会形成能力)	見通す力 (キャリアプランニング能力)
中学校	自分の長所や適性を理解し、自分の夢の実現に向け、主体的に行動するなど、努力している。	自分の考えを伝えるとともに他者の意見も聞きながら、協働して何事にも取り組もうとしている。	将来に向けた夢や目標を持ち、達成に向けた計画を見通し、努力している。
高学年	自分の長所や短所を理解し、自己を高める努力をしている。	相手の立場に立って考え、自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。	働くことの大切さが分かり、将来の夢や希望をもつ。
中学年	自分のよさに気付き、自己を高める努力をしようとしている。	自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。	様々な仕事があることを知り、働くことの大切さを知る。
低学年	自分のよさに気付いている。	自分の考えをみんなの前で話す。	様々な仕事があることが分かる。
やりぬく力 (課題対応能力)			
中学校	課題を発見し、適切な解決方法を選択し、工夫して取り組もうとしている。		
高学年	自ら課題を発見し、工夫して解決しようとする。		
中学年	自分で課題を解決しようとする。		
低学年	課題を解決しようとする。		



(3年目)

	みつめる力 (自己理解能力 自己管理能力)	かかわる力 (人間関係形成能力 社会形成能力)	見通す力 (キャリアプランニング能力)
中学校	○自分の長所や個性を理解し、自己の向上を図る。 ○自分の夢や目標の実現に向け、自律的な判断に基づいて行動を選択する。	○相手の個性や立場を尊重して話を聞き、自分の考えを伝える。 ○自分の役割を果たすために、必要に応じて他者と協働する。	○将来の夢や目標に向けて努力する。 ○生活や学習と仕事を関連付け、生活や学習の仕方を工夫する。
高学年	○自分の長所や短所に気付く。 ○場面や状況に応じて適切に行動する。	○相手の立場に立って話を聞き、自分の考えを工夫して伝える。 ○他者と協働して物事に取り組む。	○働くことの意義がわかる。 ○生活や学習と仕事を関連付け、今しなければならぬことを考える。
中学年	○自分のよさに気付く。 ○自分のやりたいことやよいと思うことを進んで行う。	○相手の話を聞いて、自分の考えをわかりやすく伝える。 ○友達と協力して取り組む。	○働くことの大切さがわかる。 ○計画を立てることの必要性に気付く、手順を考える。
低学年	○自分の成長や自分が頑張りたいことに気付く。 ○よいこと・悪いことの区別をする。	○自分の考えを話す。 ○友達と仲よくする。	○様々な仕事に興味・関心をもつ。 ○決められた時間内に、準備や片付けをする。
やりぬく力 (課題対応能力)			
中学校	○生活や学習の過程を振り返って課題を見付け、主体的に解決したり次に生かしたりする。		
高学年	○生活や学習上の課題を見付け、最後まで解決しようとする。		
中学年	○周りの人から支援を受けながら、自分の力で課題を解決しようとする。		
低学年	○どんなことにもチャレンジをし、自分のことは自分で行おうとする。		

3 教育活動全体の改善を図る

(1~2年目)

○ 育成する力を児童生徒とも共有して意識化を図り、内面を言語化させて評価に結び付け、自己評価と教師からの評価を行いました。実践してみると時間と分量の課題から、試行錯誤を繰り返しながら何度もシートの改善を図ることになりました。

発達段階に合わせて、事前・事後をアンケート形式にし、活動後に振り返りを記述するなどの工夫をすると効果的に見つめる力を育むことができました。

また、これらを学期ごとの補助簿を作成し、長期的に変容を見取る工夫を行うことで、一人一人の変容に気づき、成長をタイミングよく具体的に評価することができました。

(修学旅行) の学習では (かかわる力) を育てよう！

学習の前

かかわる 力	相手の意見・考えを聞きながらも、自分の案（意見・考え）を出し、研修をより充実したものにできるよう、前向きに取り組んでいる。	できる	やや できる	<u>あまり できない</u>	でき ない
--------	---	-----	-----------	---------------------	----------

理由

相手の意見・考えを聞くことはよくできるが、その後の自分の案
(意見・考え)を前向きに出すことが全くできないから。(自信がない)
→できるようにしたい。

学習の後

かかわる 力	相手の意見・考えを聞きながらも、自分の案（意見・考え）を出し、研修をより充実したものにできるよう、前向きに取り組んでいる。	<u>できる</u>	やや できる	あまり できない	でき ない
--------	---	------------	-----------	-------------	----------

理由

人の話をし、しっかり聞いて それに対する質問・意見を前向きに答
えることができるようになり、他にも分からない所も 気軽に 周りの人に聞くこと
もできた。 そして、分かったら 「分かりました、ありがとうございませ
うと一言言て行動に
うつせた。
**列研研修を通して、自分の意思を出し、
質問したりする力が身に付いてきたのは、
人まを堂々に生きていくまで、大切な力です**

江田島中学校 生徒の修学旅行シート(表)

★班別自主研修を振り返ろう！

●学んだことは、将来どのように役に立つと思いますか？

僕は班別自主研修で金閣寺に行って金閣寺ができた理由、なぜ金閣寺は金色なのか、なぜ金閣寺の1層は金色になっていないのかなどたくさんのことを学びました。この学んだことは、将来金閣寺に疑問を持っている人に教えたり、金閣寺の知らない子に教えることに役立つと思います。他に班別自主研修で買い物の仕方について学びました。今回の班別自主研修での買い物では、お金の無駄使いをしないようにと意識しすぎてあまり買えていませんでした。この学んだことは、将来旅行に行、た時などにあまり買えなかったをなくすことができると思います。

●身に付いた力を、将来、どのような場面で生かしていきたいですか？

旅行に行く時は計画をしっかりと立てて行くという力は、将来バスや電車などに乗る時に乗り遅れずに行けるので、乗り物などの時間が決ま、るものに乗る場面で生かしていきたいです。
時間を守るという力は、将来時間によゆうを持って行くことができると思うので、時間を守らないといけない時に生かしていきたいです。

江田島中学校 生徒の修学旅行シート(裏)

(2~3年目)

学校行事『 校内ロードレース大会 』

●スケジュール

月	実施内容・学習内容(単元)	到達目標
通年	事前準備(業間練習, 体育の授業など)	体力向上を目指して, 日々の授業や業間運動に, 真剣に取り組む。
12/21	校内ロードレース大会当日	各自の目標に向け, 全力を出し切る。

●パフォーマンス課題: 到達目標(Sを目指しましょう!)

【文章型】(見つめる力・ 関わる力・ **やり抜く力**・ 見通す力)

S	A	B	C
<p>・授業や業間運動で練習を行うとき, リーダーシップを発揮して, 励ましの声を掛け合いながら練習を引っ張った。</p> <p>・本番では, 自分の力を全て出し切り目標順位や目標タイムを達成することができた。</p>	<p>・授業や業間運動で練習を進めるとき, 前向きに取り組むことができた。</p> <p>・本番では目標は達成できなかったが自分の力を出し切ることができた。</p>	<p>・授業や業間運動には休まず参加した。</p> <p>・本番では自分のペースで歩くことなく走り切った。</p>	<p>・真剣に練習に参加せず, 本番では力を出し切ることができなかった。</p>

●自己目標の設定

【校内ロードレース大会の自分の目標】

自分の力を最後まで出し切り, 休まず走り切る。
 今までより最も速いタイムになるように, 効率よく走る。
 最後は全力を出す。
 後悔のないように終わらせる。

(江田島中学校)
 校内ロードレース大会に向けて、どんな力を育成したいかを生徒自身が選択し、目標設定を行いました。

●校内ロードレースを終えて 自己評価(活動を振り返っての自己評価)

(見つめる力・ 関わる力・ **やり抜く力**・ 見通す力)

S : とてもよくできた A : まあまあできた

B : 少しできた C : できなかった

●フィードバック

活動の中で頑張って取り組んだこと, 意識したこと, 工夫したこと (2行以上)
 前を走っている人に必ずついていくことを意識した。
「疲れた」や「もう無理!」などと考えず, ただのランニングのように, さわやかに
気持ちよく走ることを意識した。 前の人をスピードを落とされたら, ぬかすことを頑張った。最後は全力をこえた本気を出してゴールをした。
全力をこえたから、やり抜く力を発揮することができたね!!

●感想

感想・気づき・周りの人の良かった点・次への抱負 (2行以上)
 疲れたけれど, 目標どおり歩くことなく走り切れたのが良かった。
 1~3年たつたので不安はたけけれど, 自信はもつて走ることができた。
 次回はタイムを短くし, スムーズに走れるように意識し, また後悔のないように走り切りたい。
 最後まで必死に頑張れてうれしいし, 本当に良かった!!

事後には振り返りを行い、書くことで自分を見つめる時間を設定しました。

(2~3年目)

○ 2年目は切串小が作成した「めざす自分」シートを、中学校区で統一して使用することになりました。小学校では、学期初めに、カードに生活と学習の目標を書いています、それを一年分にまとめたものと考えています。

キャリア教育の視点で、年度初めに「自分のめざす姿」を設定し、そのために毎学期何をどのように頑張るかを、逆算的に計画を立て、学校生活を自分自身で見通しをもつことができるようにしています。これは、自分の生活を自分でコントロールすることにもつながると考えています。また、可視化して意識できるように掲示をすると、毎学期初めに書いていた「学習目標や生活目標」の代わりにもなる上、年度末には保護者からもメッセージをもらって、キャリア・ファイルに綴じすることもできるので、とても有効なものとなりました。

「めざす自分」シート ことしいちねんかん 今年一年間で、めざす自分を思いえがき、そのために何をがんばるかを考えよう。

こんな人になりたい!

思いやりのある人
自分で考える人

	そのために がんばること	ふり返り	先生より
一学期	水とうとかも西(り) ありがとうと言って 相手がうれしくなることを考えることができた	もう少し 少しできた できた よくできた	(先生より) 相手のことを考えるの、をくり返してあげばそれが習慣として身に付いていくでしょう。
二学期	「ありがとう」と言って くれるようなことをし、自分でははたした人にする。	もう少し 少しできた できた よくできた	(先生より) 人に言われる前に自分で考えて動くことが多く見られ、2学期以降、算数の自学でも納得いくまで考えていたのがいいと思います。
三学期	自分で日々計画を立てて 相手のことを良く考える	もう少し 少しできた できた よくできた	(先生より) 思い通りに進んでいかないと自分で自分をコントロールしようとしていたね。失敗を次に生かす人はどんなに成長します。あなたには、自分で自分をコントロールできる力があります。

家庭より

自分で計画を立ててやるのがいいと思ってる。出来ていっていいと思ってる。人の気持ちを考えられるよう成長しているように思っている。

いちねんかん ぶ かえ か 一年間を振り返って書こう。
~この一年で がんばったことや 成長したことなどを 書きましよう。~

みつめる力では自分の失敗などどこがためなのを、学期別で考えてはみたこと、も今では考えるようになった。それを次に生かして同じ失敗はないようにした。他にも何かをする時自分はこれがためたからこれをがんばるというふうに決めてやるようになった。

みつめるとかでは、今は家でこの時間にこれをするなど全部のことに計画性をもつことができた。

こんな 6年生になりたい!

自分で考えて行動できる6年生。自分のことを終わらせ下級生へ手伝いにいける6年生。

先生より

うまいかはいとときに、何が課題かをしり、見つめることができたらね。課題がもて、いるから、その後どうすればよいか考えて、見直すことができたでしょう。この力、6年で生かせ!

切串小学校 児童のキャリア・シート(表・裏)

(2～3年目)



学校行事はどのように改善を図りましたか。

- 運動会や水泳記録会、新体力測定、文化祭（学習発表会）、持久走大会などの学校行事は、キャリア教育における育てたい力を育成する絶好の機会です。全校での取組は、教職員・児童生徒・保護者・地域が揃う場となるので、同じ目的で一体となって取り組みやすくなります。これまでの与える行事や活動ではなく、キャリア教育の視点で行事を見直してみましよう。例えば、「どんな〇〇にしたいか。」「その実現に向けてどうすればよいか。」と目的や方法を主体となる児童生徒と一緒に考え、うまくいかなければその原因を分析して次の課題設定とし、思いや考えの実現に向けて取り組むことができるようにします。このように取り組んだ体験は、達成感のみでなく学び方を体得して個々の学びが鮮明に記憶として残るので、次への意欲へとつながり、児童生徒の主体的に学ぶ姿を見せてくれるはずです。また、こうして自己実現を図ろうとすれば、自分自身の在り方や生き方を深く考えることにもつながるでしょう。

このことが、「特別活動が学校教育全体を通して行うキャリア教育の要となる。（総則）」といわれる所以ではないかと考えます。

5 事前指導 ◎ キャリア教育「なりたい自分シート」の振り返りを前日までにしておく。

○ 終業式の意義・ねらいについて学年に応じた指導をする。

○ 集合・整列・話を聞く態度・歌の指導

6 式次第 進行:教務

① 互礼

② 始めの言葉(教頭)

③ 校長先生の話

④ 校歌斉唱(伴奏 埜本)

⑤ 終わりの言葉(教頭)

⑥ 互礼

7 事後指導 ◎ 1学期の自分のがんばりや成長について、学級で発表する。

○ 校長先生の話から自分の生活や考え方について振り返る。

○ 夏休みの生活についてめあてをもつ。

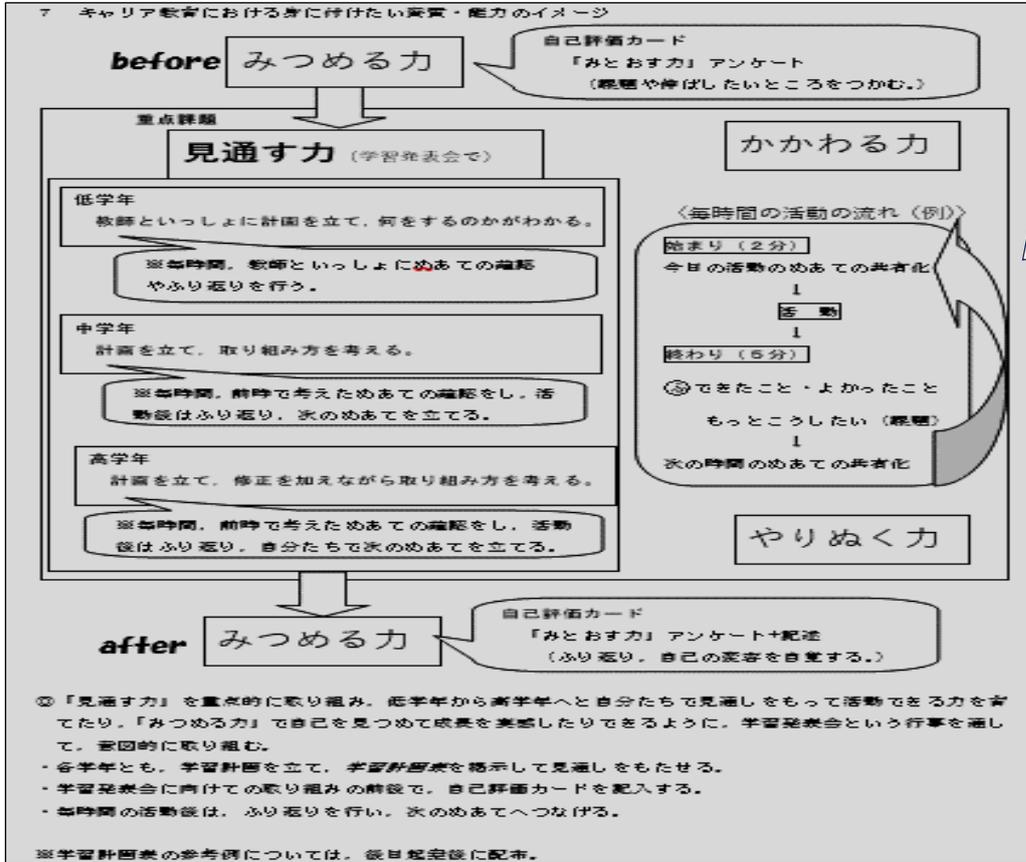
8 評価 ○ 1学期の振り返りをしたり友達の発表を聞いたりして、自他のがんばりに気づくことができたか。

○ 夏休みの抱負がもてたか。

(切串小学校)

キャリア教育の視点を記載した終業式の計画案の一部。

その他の行事や式関係に係る計画案においても、キャリア教育の視点を記載し、全校で意識統一を図った。



(切串小学校) 学習発表会の計画案の一部

(切串小学校) 運動会に向けた代表委員会の様子



赤枠： 代表委員会で児童が意見を出し合い、児童自身が発案した事項(旗・応援旗・担当の仕事)に取り組んだ。児童に任せる部分を生み出したことで、みんなで運動会を創り上げるという意識が芽生え、児童の運動会に対する意欲を、より高めることができたと考えている。